

第1学年 道徳学習指導案

日時 平成17年10月28日(金)

10:25~11:15

授業会場 盛岡市立厨川中学校 1年2組教室

対象 盛岡市立厨川中学校

1年2組(男17名、女19名、計36名)

指導者 盛岡市立厨川中学校

教諭 長畑 由美子

1 主題名 「地域のために」 (4-(8))

2 資料名 「地域からの手紙」(自作資料)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

内容項目4-(8)は、「地域社会の一員としての自覚を持って郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊厳と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。」である。

地域社会は、家庭や学校とともに生徒の人間形成に欠かすことができない場の一つであるが、近年地域の人々とのつながりや郷土意識が薄くなっている傾向が見られる。しかし、生徒にとって、地域社会は家庭や学校と共に大切な生活の場である。地域作りや地域の活性化活動に触れ、体験することを通して、そこに住むことの喜びが生まれ、地域社会の一員としての自覚がもてるようになり、郷土を大切にす尊敬の念や感謝の気持ちも生まれてくる。郷土を愛し、大切にすることは、長い間にわたって、今、自分たちが生活している郷土をつくりあげてきた先人や高齢者たちの努力に思いを寄せ、そのことに対する感謝の気持ちを持ち、これを今後の人々のためにより発展させて引き継いでいくことである。

中学生のこの時期は、自我の確立を強く意識するあまり、ともすれば、自分が自分だけで存在していると考えがちである。このような傾向を考えると、自分だけで存在しているのではなく、「社会に尽くした先人や高齢者」や「地域の人々」によって自分が支えられ、見守られて生きていることを自覚し、それらの人々への尊敬と感謝の気持ちを深めることは極めて大切なことである。

そこで、指導にあたっては、地域社会に尽くすことの意義を考えさせながら、生徒一人一人に自分も地域の一員であるという自覚をもたせ、進んで地域社会のために尽くそうとする心情を育てたい。

(2) 生徒について

全体的に授業や係活動等に意欲的に取り組み、素直な生徒が多い。男子は明るく元気がよく、積極的に発言も行う。女子は、しっかりとした考えや意見をもってはいるが、挙手して発言するまでにはいたらない。学校生活を見ていると、相手の気持ちを考えることがなかなかできず、自分の尺度だけで行動し、相手を傷つけていることや迷惑をかけていることに気がついていない事が多い。

道徳性検査「HUMAN」の結果からみると、すべての項目において全国の出現率と同じあるいは望ましい方向になっている。しかし、項目4「主として集団や社会とのかかわりに関すること」の郷土愛の項目においては、全国の判定出現率を上回る結果となっているものの、他項目の出現率と比較するとやや低めである。

本学級の生徒たちにとって、地域の方の視点に立ち、進んで地域のために尽くそうという心情を養っていくことは、地域社会にとって大切な役割を担っていることを自覚するとともに、その発展に努めようとする心情を育てていく上で大切なことであると考えられる。

(3) 資料について

長年にわたり、地域のために活動している方であり、中学生の奉仕活動への参加を推し進めている方の書いた手紙である。地域の活動にたくさんの中学生の参加があり、中学生のありがたさが地域に浸透し喜ばれている。しかし、積極的ではない生徒も見受けられる。進んで活動することでより中学生の良さが発揮されるので、もっと積極的に地域の中に入ってきてほしいという内容の手紙である。自分達の活動が地域に感謝されていることを知るとともに、地域の方の中学生に期待する思いに触れることは、進んで地域のために尽くそうとする心情を育てるために適した資料であると考えられる。

4 本時の展開

- (1) ねらい 地域の方の思いに気づき、進んで地域のために尽くそうとする心情を育てる。
 (2) 展開

	学習内容	期待する生徒の心の動き	留意点
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏休み明けに行った一斉奉仕活動を思い起こす。 ○ 「地域からの手紙」の範読 	<ul style="list-style-type: none"> ・暑かったけど頑張った。 ・多くの人がかかっていた活動だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオと写真を使って、活動の様子や気持ちを思い出させながら、地域の方の存在に気付かせていく。
展 開 30分	<p>1、夏のー斉奉仕活動に二つの計画を立てた地域の方の気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 冬休み明けの奉仕活動は一つの活動でしたが、この夏休み明けの奉仕活動で二つの計画を立てたのはどうしてでしょうか。 <p>2、夏のー斉奉仕活動前の地域の方の気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指示をしないとまったく手を動かさない人を、地域の方はどういう思いで見ているのでしょうか。また、そう思う地域の方をどう思いますか。 <p>3、毎月の資源回収に進んで参加している中一の女の子への地域の方の気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月の資源回収に進んで協力している中一の女の子達のことを、地域の方はどうして喜んでいるのでしょうか。 <p>4、中学生に期待する地域の方の思いを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の中に入ってきてください。という言葉は、どういう思いを込めているのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の力をもっと地域に貸してほしいと思ったから。 ・雪かきの時に、嫌がらずにやってくれたから。 ・計画通り活動が終わるのかという心配。 ・どう声をかけたらいいのかと悩む。 ・不安になるのも仕方がない。 ・自分も同じように悩むと思う。 ・誰に頼まれたわけでもなく、進んでやっているから。 ・自分からボランティアのようにやっているから。 ・地域のー員として、積極的に活動してほしい。 ・自分のできることに進んで参加してほしい。 ・小学生とは違う行動力に期待している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生への期待があることに気付かせる。 ・積極的に活動しないことが、いかに地域の方を悩ませているか、地域の方の気持ちになってじっくり考えさせ共感的に捉えさせたい。 ・自ら進んで活動することが、より地域の方に喜ばれることを感じ取らせていく。 ・まだまだ多くのことを期待されていることを捉えさせる。
終 末 10 分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域への思いを手紙で表す。 ○ 地域の方のお話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のー員として、今まで以上に進んで参加していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でこれからどのように活動していきたいかを考えさせる。 ・地域のー員として、期待されていることを実感させる。

5 評価

中学生に期待する地域の方の思いを、自分の言葉で表現できたか。

6 資料構造図 (分析図)

場面	主人公の意識	学習者の意識	意識の焦点化	主な発問
夏の一斉奉仕活動に二つの活動を計画する。	<ul style="list-style-type: none"> 中学生の力をもっと貸してほしい。 冬の雪かきで感謝の声が寄せられ、より町や地域のために頑張ってもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方は期待している。 もう少しがんばりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動は大変になるが、期待されていることに気付かせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 冬休み明けの奉仕活動は一つの活動でしたが、この夏休み明けの奉仕活動で二つの計画を立てたのはどうしてでしょうか。
夏の一斉奉仕活動前に、不安な気持ちになる。	<ul style="list-style-type: none"> 雪かきの時、指示をしないとまったく手を動かしていない人も多く見受けられた。 なかなか動いてくれなかったらどうしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 奉仕活動が計画通り終わるか心配になる。 奉仕活動に来ているのになぜやらないのだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで活動しない様子を見たときの地域の方の悩む気持ちを共感的に捉えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指示をしないとまったく手を動かさない人を地域の方はどういう思いで見ているのでしょうか。また、そう思う地域の方をどう思いますか。
毎月の資源回収に、進んで参加している中一の女の子がいる。	<ul style="list-style-type: none"> 誰に頼まれたわけではなくても協力してくれてうれしい。 中学生は、そこにいてだけで皆を笑顔にさせその場の雰囲気を盛り上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分から進んで活動しているから喜ばれている。 元気いっぱいパワーを与えてくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自ら活動することが、より地域の方に喜ばれることを感じとらせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月資源回収に参加している中一の女の子のことを、地域の方はどうして喜んでいるのですか。
「元気な笑顔いっぱい、地域の中に入ってきてください。」と呼びかける。	<ul style="list-style-type: none"> 中学生が地域で活動するという事は、中学生が思っている以上の影響力を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の一員として積極的に活動してほしい。 自分のできることに進んで参加してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> まだまだ多くのことを期待されていることを捉えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の中に入ってきてくださいという言葉は、どういう思いを込めて言っているのでしょうか。

7 板書計画

地域からの手紙

一斉奉仕活動↓小中地域合同

- ・草取り
- ・アルミ缶回収
- ・ゴミ拾い
- ・窓ふき

おじいさん
おばあさん
・仕事を休んで
・地域のために

手紙をくださった
地域の方

一つの計画

中学生の力

・期待

動かない中学生(不安)

- ・なぜやらないのだろう。
- ・奉仕活動が計画通りに終わるか心配。
- ・どう声をかけたらいのかと悩む。

毎月の資源回収

中一の女の子の協力

- ・自分から進んでやっているから。
- ・誰かに頼まれたのではなく自主的な参加だから。

元気な笑顔いっぱい、地域の中に入ってきてください。

- ・もっと積極的に活動してほしい。
- ・自分のできることに進んで参加してほしい。
- ・一緒に活動して、中学生のパワーを見せてほしい。